

まもなく子どもたちが待ちに待った夏休み。

今年度は、7月25日～8月29日までの36日間の夏休みとなります。長い休み中、保護者・地域の皆様にはお世話になりますが、子どもたちが安全で楽しい休みが過ごせますよう温かい見守りをよろしくお願い申し上げます。



笑顔いっぱい細谷小



## 細谷っ子の優しい心のエピソード

6月のとある日の朝、登校指導を終えて学校の正門を入ると、体育館の前の水たまり近くで、1年生が大きな声で「校長先生、ドジョウがいます。」と叫んでいます。周りには何人かの児童が集まっています。水たまりにドジョウ？と半信半疑で行って見ると、確かに15cmほどのドジョウです。子どもたちは、「このままだとかわいそう。」「希望の泉に入れたら、鯉に食べられちゃうし。」とつかもうとしていましたが、又ル又ルとしてつかめません。持っていたビニール袋を「使ってください。」と差し出してくれた5年生の女の子。無事、救出して、正面玄関の水槽に金魚と同居させることにしました。

その後、校舎を周っていると、「さっきのドジョウはどうなったの？」と心配そうな1年生。水槽に入れたことを告げると、「見にいってきます。」「家で飼いたいなあ。」と足早に玄関に向かって行きました。

小さな生き物を大切にする優しい心に感動した朝の出来事でした。



6年生が「家族のきずな」エッセイコンクールに応募した文章を、全員分読ませてもらいました。家族への感謝の気持ち、家族の絆、心の結びつき、支え合いや助け合い等が、一人一人の言葉で表現されていました。応援してもらっていること、病気になったときに看病してもらったこと、かけがえのない存在であることが文章からひしひしと伝わってきました。

本人に承諾を得ましたので、エッセイの一部を紹介します。



わたしは、家族に毎日することがある。それは、「あいさつ」だ。朝、起きてからまず言う言葉は、「おはよう。」そして、学校に行く前に必ず言うあいさつは「行ってきます。」このあいさつは、必ず家族に言っていく。学校がある日、ほとんどは一日を学校で過ごすため、家族と話す時間があまりない。でも、「行ってきます。」とあいさつすることで、家族とのきずなも深まる。毎朝あいさつをすると、一日がんばろうという気持ちにもなれる。

わたしの家族のきずなは朝食を全員そろって食べることです。わたしの父は夜おそくまでお務めしているので朝食以外家族全員で話をしたり、学校行事について話を聞いてもらったりする時間がないからです。なので、わたしの家では朝の時間は父のペースに合わせて起床します。6時10分には朝ごはんを4人で食べます。そして、6時45分には出勤するのを全員で見送ります。こんなに早く起きてもだれも文句は言いません。一日一回は、必ず家族で顔を合わせる時間が大切だと思います。ずっと続けていきたいな。

# 細谷小の特色ある教育活動

## 1 わんぱく相撲大会で燃えた細谷魂



6月15日(土) 冷たい雨の中、総合グラウンドで行われ、熱戦を繰り広げ、7名が入賞しました。みんな大健闘でした。

横綱	1年	菊地 音羽
大関	3年	山田 詩媛
関脇	1年	寺崎 丈将
	3年	寺崎 美羽弥
	5年	室野井 康太
敢闘賞	5年	寺崎 友俊
	6年	池田 泰雅

## 2 今年も案山子(かざりこ)が稲を守る!

2年生と5年生が田植えをした田んぼに、各学級で持ち寄った材料を基に、みんなで案山子を作成しました。年々、案山子がレベルアップして、力作ぞろいです。

どの案山子もアイデアがあふれていて、稲をしっかり守ってくれそうです。7月10日(水)に各学級の代表者が田んぼに行き、立てる予定です。準備を田村 勝己様がしてくださり、お世話になりました。

今年もコンテストを行い、入賞作品に賞状が贈られます。どの学級の案山子が入賞するかお楽しみに。



## 3 聾学校との交流

相手の立場になって考え行動できる子。互いに励まし合って助け合える子を育成するために、行っている交流学習。

今年も、1・2・4・5年生が本校で、3・6年生が聾学校に行き、交流を深めました。自己紹介や名刺交換やゲーム等を通して、細谷小の児童と聾学校の生徒さんが心を通い合わせ、楽しく充実した時間を過ごせました。



### <お知らせ>

今年度も個人懇談期間中に、校長・副校長による「体罰の根絶に向けた相談」の期間を設けます。

7月22日(月) 23日(火)の2日間です。体罰に関するお悩みやご相談がありましたら、学校までお知らせください。 Tel 624-6023 (校長・副校長)